

<2ページ>  
食べ物の「もったいない」を減らそう！

<3ページ>  
ごみ減量アイデアの募集  
まちエコ・フリマの開催

<4ページ>  
子ども用リユース品配布会の開催  
研修会のお知らせ

秋号

# ごみ減量サポーターニュース

発行：町田市環境資源部3R推進課

## 10月は3R推進月間です！

環境省を含む3R関係省庁等では、3Rに対する理解と協力を求めるため、毎年10月を3R推進月間と定め、広く国民に向けて普及啓発活動を実施しています。

町田市では、期間中「食品ロスの削減」や「エコバッグの利用促進」の取り組みを推進します。併せてリサイクル推進店※や公共施設でポスターの掲示をします。

ぜひこの機会にごみの減量について改めて考えてみませんか？

### 3Rとはごみを減らすための3つのキーワード

#### \* Reduce(リデュース) ごみを作らない

- ・買い物に行くときは、エコバッグを持って行き、レジ袋をもらわない
- ・出された料理は残さず食べる
- ・出かけるときはマイボトルを持ち歩く
- ・ unnecessaryな包装を断る

#### \* Reuse(リユース) くり返し大切に使う

- ・使わなくなった紙の裏はメモ用紙として使う
- ・いらなくなったものは必要としている人にあげる
- ・フリーマーケットを利用する
- ・壊れたものは修理して大切に使う

#### \* Recycle(リサイクル) 分けて資源にする

- ・きちんと分別して資源の日に出す
- ・生ごみは生ごみ処理機でたい肥化する

## お買い物には、エコバッグを持って行こう！

### エコバッグを持って行くと...

#### 1. ごみの減量につながります

年間に1人あたり約300枚のレジ袋を使用していると言われています。レジ袋の重さを1枚10gとし、町田市のみなさんでエコバッグを使うと約1,300トンの削減効果になります。

「エコバッグ利用促進ポスター」を掲示していただける団体を募集しています！ご協力いただける場合は3R推進課（042-797-0530）までご連絡をお願いします。

#### 2. レジ袋の材料となる石油資源の消費を抑えることができます

#### 3. レジ袋の中には土に還ることなく、自然界に残ってしまうものがあります

レジ袋の使用を控えることで、自然界への影響を少なくすることができます。

お買い物は、エコバッグで

# 10月は、 エコバッグ 利用促進月間



町田市

エコバッグ利用促進ポスター  
(A3サイズ)

※リサイクル推進店とは、リサイクル及びごみ減量を推進するため、ペットボトル・白色発泡トレイ・紙パックの拠点回収、簡易包装の推進、レジ袋の削減等を行っているお店です。市内51店舗で取り組んでいます。

# 食べ物の「もったいない」を減らそう！

食品ロスとは、本来食べられたはずなのに、捨てられてしまった食品のことです。

食品ロスは、全国で年間600万トン以上発生しています。この食品ロスの発生量を日本人ひとり当たりで換算すると、毎日お茶碗1杯分が捨てられていることになります。

## 食品ロスの主な原因は...

### 1位 過剰な除去

調理のときに食べられる部分が捨てられたもの。



### 2位 食べ残し

食べ切れずに捨てられたもの。



### 3位 期限切れ

使い切れずに賞味期限・消費期限が切れて捨てられたもの。



買いかでも食品ロスを削減できます

あなたの行動ひとつで食品ロスは減らせます

10月は、3R推進月間です！「食品ロスの削減」にご協力ください！

食品ロスの発生状況

|                      |      |
|----------------------|------|
| 家庭から発生               | 約45% |
| 食品工業・小売店<br>外食産業から発生 | 約55% |

日本では、年間で600万トン以上の食品ロスが発生して、その半分は、家庭から発生しています！

すぐに食べるものは  
手前から買いましょう！

家にある分を確認して  
買い物をしましょう！

外食時には、食べ切れる分  
を注文しましょう！

何かわからない場合は  
食品ロスを減らしましょう！

（食品ロスとは）  
本来、食べられたはずなのに捨てられてしまった食品  
廃棄物として「食べ残し」や「期限切れ」などが原因  
で発生してしまった食品廃棄物のことです。

町田市  
発行：町田市環境資源部3R推進課（TEL：042-797-0530）

食品ロス削減ポスター

## 食品ロスを出さないために...

### 1. 買い過ぎないように注意する

- 買い物前に家にある食品の種類や量を確認する
- 必要な分だけを買うために買い物メモを作る
- 量り売りを利用して使い切れる量を購入する

### 3. 作りすぎないようにする

- 食べる人の適量をきちんと把握して、料理する
- 使い切れなかった食材は、きちんと保管して早めに使い切るようにする
- 残った料理もリメイクレシピを活用してうまく使い切る

### 2. 適切な食品管理をする

- 食材に適した保管の仕方を理解する
- 冷蔵庫の中を常に整理して、食品の種類・量を把握しやすい環境を作る
- 期限切れが発生しないようにする  
賞味期限：美味しく食べることができる期限  
消費期限：過ぎたら食べないほうがよい期限

### 4. 食べ切る

- 出された料理は残さずに食べる
- 自分や家族の必要量をきちんと把握して料理したり注文したりする

## それでも出てしまった生ごみは...

### ●生ごみの水を切ろう！

生ごみの重さの約80%は水分です。

- ①濡らさない
- ②乾かす
- ③ひとしぼり

この3つのポイントを意識することで水分を減らすことができます。

### ●生ごみをたい肥化しよう！

生ごみは、ダンボールコンポストやたい肥化容器、生ごみ処理機を使って「たい肥」にできます。

町田市ではたい肥化に取り組んでいただくため、右記のような購入費補助制度がございます。

### <生ごみ処理機等購入費補助制度>

#### ■補助対象者

- ・町田市に居住の方
- ・生ごみ処理機等の購入日から、6ヶ月を経過する日までに申請した方
- ・以前にこの補助を受けられてから、5年を経過した方

#### ■補助対象の生ごみ処理機等

- ・生ごみたい肥化容器（1世帯2基まで）
- ・生ごみ処理機（1世帯1基まで）

- 補助率・限度額  
購入価格の4分の3  
（限度額2万円）



生ごみたい肥化容器



生ごみ処理機（電動）

詳しくは市ホームページ内にて「生ごみ処理機 補助」と検索



## ごみ減量アイデアを募集しています！

みなさんが日頃行っている、ごみを減らすためのちょっとしたアイデアを募集しています。ごみを出さない生活の知恵や、生ごみの水切りのアイデア、物と長く付き合うコツなど、ぜひご応募ください！

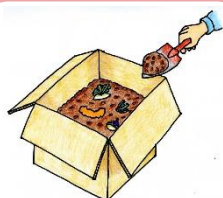
### 例えば…



冷蔵庫をチェックしてから買い物に行きます



過剰な包装は断ります



生ごみはダンボールコンポストに入れてたい肥にリサイクルしています

\*募集したアイデアの中からいくつかホームページや情報誌などでご紹介させていただくことがあります。

\*アイデアを紹介させていただいた方には、リサイクルグッズをプレゼントします。



### ★応募方法はいろいろあります★

①アイデアの内容、②住所、③氏名（ふりがな）、④電話番号をご記入の上、下記の方法でご応募ください。

#### <郵送>

〒194-0202  
町田市下小山田町3160  
3R推進課推進係「減量アイデア」  
募集担当

#### <FAX>

042-797-5374

#### <メール>

mcity2930@city.machida.tokyo.jp

市ホームページでこれまでの「ごみ減量アイデア」を見ることができます。ぜひご覧ください！

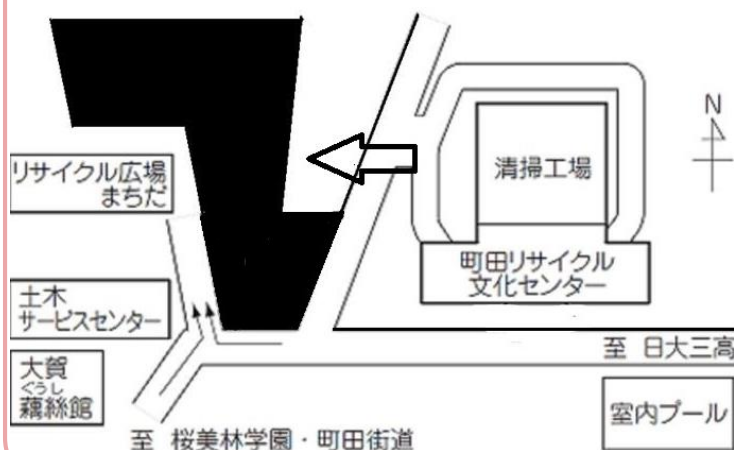
市ホームページ内にて  
「ごみ減量アイデア」と検索

## まちエコ・フリーマーケットを開催します！

ごみを減らして環境にやさしい暮らしを推進するため、一般財団法人まちだエコライフ推進公社主催のフリーマーケット「まちエコ・フリーマーケット」を開催します。ぜひご来場・ご参加ください！

### <開催場所>

町田リサイクル文化センター隣接地



### <開催予定日>

10月14日（日曜日）午前9時から午後2時

11月11日（日曜日）午前9時から午後2時

\*開催日時・場所は天候などにより変更・中止になる場合があります。まちだエコライフ推進公社ホームページ又は直接同公社へご確認ください。



【まちエコ・フリマに関するお問い合わせ先】  
一般財団法人まちだエコライフ推進公社  
電話：042-797-9617

## 子ども用リユース品配布会を開催します！

### <子ども用リユース品配布会とは>

市では、修理などを必要としない再利用（リユース）可能な「子ども用品」を回収し、必要な方に提供する、子ども用品の「回収会」と「配布会」を定期的を開催しています。

7月と8月に開催した回収会では、多くの市民のみなさんにご協力いただき、たくさん子ども用品が集まりました。

配布会では、使っていただける方に、集まった子ども用品を無料で提供します。

### <配布会で取り扱う品目について>

#### 【大型用品】

- ・ベビーベッド
- ・歩行器
- ・ベビーカー
- ・チャイルドシート
- ・乳幼児用ハイチェア  
※椅子も含む
- ・乳幼児用移動防止柵

#### 【その他】

- ・子ども服  
※水着・下着・肌着類を除く
- ・バッグ、靴・帽子  
※小学生くらいまでのもの
- ・子ども向けの絵本、DVD
- ・玩具

### <開催日程>

★子どもセンターただON  
(忠生1-11-1)

10月13日(土曜日)  
午後1時から午後3時まで

★子どもセンターばあん  
(金森4-5-7)

10月20日(土曜日)  
午後1時から午後3時まで

★子どもセンターぱお  
(相原町2025-2)

10月21日(日曜日)  
午後1時から午後3時まで

★子どもセンターまあち  
(中町1-31-22)

10月27日(土曜日)  
午後1時から午後3時まで

### <注意事項>

- 当日は、子ども用品の回収は行いません。
- 販売や営利目的とみなされる方への配布は行いません。
- 数量に限りがございます。予定では各会場の開催は午後3時までとなっておりますが、物品がなくなり次第終了する場合がございます。
- 今回配布するリユース品は、市民の方が持ち込まれたものを、そのまま提供しており、町田市が品質・安全性を保證するものではありません。使用にあたっては、受領者の責任において、使用してください。



詳しくは市ホームページ内にて  
「子ども用「リユース」と検索



## ごみ減量サポーター研修会の日程が決まりました！

今回の「ごみ減量サポーター研修会」では講師の先生をお招きしてワークショップ型講座を実施します。

この機会に、他地域のサポーターと交流をしてみませんか？ぜひご応募ください！

◆日時：11月7日(水) 午前9時10分から11時40分

◆会場：市庁舎(森野2-2-22)

◆対象者：ごみ減量サポーター

※ご本人様が来られない場合には代理者の選出ができます

◆参加定員数：48名

※申込者数が定員を超えた場合は抽選になります

※抽選の際は、ごみ減量サポーターご本人様を優先させていただきます。

◆お申し込み方法

同封しております参加申込票に必要事項をご記入の上ご提出ください。

### ～研修内容～

#### ワークショップ型講座

(講師：大阪ごみ減量推進会議)

第1部 講演

「家庭から始めるごみ減量と3R」

第2部 ワークショップ

①「講演を聞いて感じたこと」

②「家庭から出るごみを減らすために地域でできること」

詳しくは、同封しております「ごみ減量サポーター向け研修会の開催について」をご覧ください